



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月4日  
東

上場会社名 ジェイリース株式会社 上場取引所  
 コード番号 7187 URL <https://www.j-lease.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼会長(氏名) 中島 拓  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務兼専務執行役員経営企画本部長(氏名) 中島 重治 (TEL) 03-5909-1245  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月4日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	5,403	11.5	644	414.6	615	590.4	388	—
2020年3月期第3四半期	4,845	11.2	125	—	89	—	0	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 388百万円( —%) 2020年3月期第3四半期 0百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	44.08	43.19
2020年3月期第3四半期	0.02	0.02

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	7,676	1,041	13.6
2020年3月期	7,833	650	8.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 1,041百万円 2020年3月期 650百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	11.2	840	440.0	800	654.9	500	—	56.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	8,836,800株	2020年3月期	8,800,800株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	60株	2020年3月期	60株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	8,813,628株	2020年3月期3Q	8,797,095株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況が続いております。感染症拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあり、景気は持ち直しの動きが見られておりますが、感染症拡大による社会経済活動への影響に十分な注意が必要な状況にあります。

当社を取り巻く賃貸不動産業界におきましては、コロナ禍においても入居需要は底堅く推移しており、また、少子高齢化、晩婚化の進行による単身世帯の増加及び2020年4月に施行された改正民法による連帯保証人の保証限度額設定の義務化等により、家賃債務保証に対する需要は、引き続き好調に推移しております。

このような環境の下、当社グループは、顧客（不動産会社、賃貸人、借入人）に寄り添った丁寧な対応を徹底し、債権管理業務や与信審査の強化を図るとともに、引き続き業務効率化や経費削減に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,403,419千円（前年同期比11.5%増）、営業利益は644,410千円（前年同期比414.6%増）、経常利益は615,798千円（前年同期比590.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は388,544千円（前年同期比2,507.6倍）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### （保証関連事業）

家賃債務保証業務においては、売上面ではオンライン活用をはじめとする非対面営業の強化、顧客ニーズへの対応強化等の各施策を実施し、新規申込及び既存契約からの継続保証料等が順調に推移いたしました。加えて、コロナ禍により、事業用保証商品の引き合いが強まりました。経費面では、独自のデータベースを活用した与信審査の強化、債権管理業務の強化策を実施し、貸倒コストの抑制、債権管理業務コストの削減に寄与いたしました。

医療費保証業務においては、引き続き販路拡大と営業強化に取り組んでおります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の保証関連事業の売上高は5,359,170千円（前年同期比12.3%増）、営業利益は660,189千円（前年同期比420.1%増）となりました。

#### （不動産関連事業）

不動産仲介・管理業務及び不動産賃貸業務においては、外国籍の方々に対する業務を中心に展開しており、利益率の向上に努めておりますが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う入国制限の影響により、海外からの問い合わせや申込が減少いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の不動産関連事業の売上高は49,296千円（前年同期比39.5%減）、営業損失は15,779千円（前年同期は営業損失1,921千円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末比157,191千円減少し7,676,002千円となりました。これは主に、収納代行立替金の増加548,615千円、貸倒引当金の増加308,103千円、代位弁済立替金の減少301,862千円、未収保証料の減少209,392千円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比548,013千円減少し6,634,787千円となりました。これは主に、短期借入金の減少200,000千円によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比390,822千円増加し1,041,214千円となりました。これは主に利益剰余金の増加388,544千円によるものであります。

これらにより、自己資本比率は前連結会計年度末比5.3ポイント増加し13.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年10月13日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、2021年1月28日公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正（復配）に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	979,058	1,140,653
未収保証料	753,278	543,885
未収手数料	34,856	41,666
未収還付法人税等	3,925	—
代位弁済立替金	5,265,540	4,963,677
収納代行立替金	547,092	1,095,708
貯蔵品	11,839	13,735
その他	267,463	247,610
貸倒引当金	△2,027,000	△2,280,000
流動資産合計	5,836,055	5,766,935
固定資産		
有形固定資産	293,459	261,220
無形固定資産		
その他	395,103	338,862
無形固定資産合計	395,103	338,862
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,120,141	1,134,050
その他	263,032	304,634
貸倒引当金	△74,598	△129,701
投資その他の資産合計	1,308,575	1,308,983
固定資産合計	1,997,138	1,909,066
資産合計	7,833,193	7,676,002

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	3,250,000	3,050,000
1年内返済予定の長期借入金	60,048	60,048
リース債務	40,536	41,400
収納代行未払金	878,064	807,148
未払金	420,392	374,576
未払法人税等	161,442	123,626
前受金	1,761,705	1,702,131
賞与引当金	94,521	49,598
その他	196,850	191,040
流動負債合計	6,863,561	6,399,569
固定負債		
長期借入金	119,856	74,820
リース債務	143,726	112,540
役員退職慰労引当金	3,065	4,528
長期末払金	7,986	—
資産除去債務	43,418	42,447
その他	1,187	882
固定負債合計	319,239	235,218
負債合計	7,182,801	6,634,787
純資産の部		
株主資本		
資本金	713,348	714,482
資本剰余金	288,348	289,482
利益剰余金	△351,146	37,397
自己株式	△49	△49
株主資本合計	650,501	1,041,313
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△109	△99
その他の包括利益累計額合計	△109	△99
純資産合計	650,392	1,041,214
負債純資産合計	7,833,193	7,676,002

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	4,845,507	5,403,419
売上原価	1,063,273	1,152,528
売上総利益	3,782,234	4,250,891
販売費及び一般管理費	3,657,000	3,606,481
営業利益	125,233	644,410
営業外収益		
受取利息	5	408
受取配当金	10	10
受取保険金	917	—
補助金収入	425	2,940
償却債権取立益	385	317
預り金取崩益	459	388
その他	344	908
営業外収益合計	2,546	4,973
営業外費用		
支払利息	20,537	25,034
債権譲渡損	15,282	6,011
その他	2,768	2,539
営業外費用合計	38,588	33,585
経常利益	89,191	615,798
特別利益		
課徴金返還額	—	573
資産除去債務履行差額	2,342	—
固定資産売却益	21	—
特別利益合計	2,364	573
特別損失		
課徴金	44,780	—
減損損失	4,433	13,496
固定資産除却損	8	1,152
特別損失合計	49,222	14,648
税金等調整前四半期純利益	42,333	601,722
法人税、住民税及び事業税	83,510	227,087
法人税等調整額	△41,331	△13,908
法人税等合計	42,178	213,178
四半期純利益	154	388,544
親会社株主に帰属する四半期純利益	154	388,544

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	154	388,544
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	10
その他の包括利益合計	△14	10
四半期包括利益	140	388,554
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	140	388,554

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	保証関連事業	不動産関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,770,735	74,772	4,845,507	—	4,845,507
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	6,673	6,673	△6,673	—
計	4,770,735	81,445	4,852,180	△6,673	4,845,507
セグメント利益又は損 失(△)	126,933	△1,921	125,012	221	125,233

(注) 1. 売上高の調整額△6,673千円については、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	保証関連事業	不動産関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,359,170	44,249	5,403,419	—	5,403,419
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	5,047	5,047	△5,047	—
計	5,359,170	49,296	5,408,467	△5,047	5,403,419
セグメント利益又は損 失(△)	660,189	△15,779	644,410	—	644,410

(注) 1. 売上高の調整額△5,047千円については、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「保証関連事業」セグメントにおいて、事務所の統合が決定されたことにより、回収可能性が認められなくなった資産について、帳簿価格を減損損失として、特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において11,325千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、経営管理区分の見直しを行ったことに伴い、以下のとおり報告セグメントの統合、名称変更を行っております。従来の「家賃債務保証事業」と「その他」に含まれておりました「医療費関連事業」とを統合し、「保証関連事業」に名称変更しております。また、従来の「不動産仲介事業」と「その他」に含まれておりました「不動産賃貸事業」を統合し、「不動産関連事業」に名称変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。